

# 「障害のある子供の今後の教育支援の在り方」に関する有識者会議からの最終報告について

- 1 設置の趣旨** 第4期埼玉県教育振興基本計画に位置付けた「インクルーシブ教育システムの構築の視点に立った特別支援教育の推進」などを進めるにあたり参考とするため、本県における課題や解決の方向性について学識経験者等から意見を聴取する。
- 2 委員の構成** 学識経験者、医療・福祉・学校関係者、保護者 14名
- 3 埼玉県における主な課題と主な提言内容**

## 主な課題

## 主な提言内容

障害のある児童生徒への  
指導体制の充実

提言(1)  
連続性のある  
多様な学びの場の充実

- ・ インクルーシブな社会を目指した全ての学びの場における特別支援教育の推進
- ・ 小中高等学校等の校内支援体制の充実や特別支援教育コーディネーターの処遇改善
- ・ 特別支援学校のセンター的機能の取組の一層の充実
- ・ 支援籍学習や交流及び共同学習の一層の充実
- ・ 特別支援教育の視点に立った不登校対策 など

障害のある児童生徒への  
個別支援の強化

提言(2)  
個に応じた支援の充実

- ・ 子供に寄り添う一貫した支援の仕組みの検証と充実
- ・ 個別の教育支援計画と個別の指導計画の活用
- ・ 教育相談体制の整備と充実
- ・ 就学後の学びの場の見直しを支える体制づくり など

特別支援教育に係る教職員の  
専門性向上や経験の確保

提言(3)  
特別支援教育を担う  
教職員の育成

- ・ 教職員の特別支援教育に関する専門性の向上
- ・ 特別支援教育コーディネーターの育成
- ・ 人事交流の促進による特別支援教育の専門性の向上
- ・ 特別支援教育を推進するための管理職のリーダーシップの発揮と専門性の向上